世界授業研究学会（ＷＡＬＳ）について

The World Association of Lesson Studies

〇学会の概要

（１）学会の目的

授業研究と実践を促進し学習の質の向上を図るため、２００６年に７ヵ国２７人の教育関係者が中心となり設立（初代会長は、香港の高寶玉博士)。様々な国の授業研究と実践を共有するため、年１回の国際学会を開催。その他にも、各国で研究会・視察・講演などを行う。

（２）執行委員会　１３名　※2016.9 改選後、　下線来県予定

会　　長　　ピーター・ダッドリー（カムデン・ロンドン特別区教育部長）

副 会 長　　キャサリン・ルイス（ミルズ大学研究教授）

　　秋田喜代美（東京大学大学院教育学研究科教授）

事務総長　　ジーン・ラング（カムデン・ロンドン特別区教育リーダー）

会　　計　　クリスティーナ・ナトラム（シンガポール国立教育研究所　上級講師）

前 会 長　　クリスティン・リー（シンガポール国立教育研究所 カリキュラム･授業･学習学科長）

委　　員　　７名（久野弘幸　名古屋大学大学院教育発達化学研究科准教授
佐藤　学　学習院大学文学部教育学科教授　など）

（３）会員数　　３４ヵ国　７０９名（２０１６）

（４）学会の開催状況

２００７～２００９年　香港

２０１０年　ブルネイ

２０１１年　東京

２０１２年　シンガポール、

２０１３年　スウェーデン

２０１４年　インドネシア

２０１５年　タイ（１１/２４～２６　参加者約６００名）

２０１６年　イギリス（9/２～６　　参加者約５５０名）

２０１７年　日本

名古屋（１１/２４～２７　参加者約８００名、セミナー、研究発表、学校訪問）

福　井（１１/２７～２８　参加者約１００名、研究授業参加、意見交換等）